

# 老春手帳優遇制度についてのアンケート 報告書

奈良市保健福祉部長寿福祉課

# 目 次

## I 調査の概要

1 調査の目的	4
2 調査対象	4
3 調査方法	4
4 調査期間	4
5 回答状況	4
6 調査内容	4
報告書の見方	6

## II 調査結果

### 1 回答者の属性

1. 年齢	7
2. 性別	7
3. 居住地	8
4. 家族構成	8
5. 年間収入	9
6. 職業	9
7. 運転免許証の有無、持っていた時期	10
8. 外出の頻度	10

### 2 優待乗車証について

1. 優待乗車証の交付の有無	11
2. 優待乗車証の認知経路	11
3. 優待乗車証、公共交通機関の利用頻度	12
4. 優待乗車証、公共交通機関の利用目的	13
5. 優待乗車証、公共交通機関の利用時間帯	14
6. 優待乗車証の交付を受けていない理由	15
7. 普段利用している交通手段	16
8. 1ヶ月の交通費用	17
9. 優待乗車証が役立っていると思う点	18
10. 優待乗車証について不便だと思う点	19
11. 優待乗車証制度の問題点	20
12. 優待乗車証の対象年齢についての考え	21
13. 優待乗車証の利用者負担額についての考え	22
14. 優待乗車証の利用者負担のあり方についての考え	23
15. 優待乗車証の利用金額の制限についての考え	24

3	公衆浴場入浴券、映画館入場券について	
1.	入浴券を利用している理由、使う頻度	25
2.	映画館入場券を利用している理由、使う頻度	26
3.	公衆浴場入浴券の制度の今後について	27
4.	映画館入場券の制度の今後について	28
4	老春手帳優遇制度以外の福祉施策について	
1.	充実を希望する福祉施策	29

単純集計..... 別紙1

クロス集計..... 別紙2

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

老春手帳優遇制度の対象者や、若い世代など幅広い年齢層から意見を聴取し、今後の老春手帳優遇制度のあり方について、検討するための基礎資料とする。

## 2. 調査対象

奈良市に居住する20歳以上70歳未満の市民 1,000人  
70歳以上の市民 1,000人

## 3. 調査方法

郵送による調査票の発送・回収。

## 4. 調査期間

平成19年10月15日～平成19年10月25日

## 5. 回答状況

・70歳以上	有効票	645件	(有効回答率	64.5%)
・70歳未満	有効票	424件	(有効回答率	42.4%)
合計		1,069件	(有効回答率	53.5%)

## 6. 調査内容

- ・属性
- ・優待乗車証の交付の有無(70歳以上)、認知経路(70歳未満)
- ・優待乗車証(70歳以上)、公共交通機関(70歳未満)の利用頻度
- ・優待乗車証(70歳以上)、公共交通機関(70歳未満)の利用目的
- ・優待乗車証(70歳以上)、公共交通機関(70歳未満)の利用時間帯
- ・優待乗車証の交付を受けていない理由(70歳以上)
- ・普段利用している交通手段(70歳以上)、(70歳未満)
- ・1ヶ月の交通費用(70歳以上)、(70歳未満)
- ・優待乗車証が役立っていると思う点(70歳以上)、(70歳未満)
- ・優待乗車証について不便だと思う点(70歳以上)
- ・優待乗車証制度の問題点(70歳以上)、(70歳未満)
- ・優待乗車証の対象年齢についての考え(70歳以上)、(70歳未満)
- ・優待乗車証の利用者負担額についての考え(70歳以上)、(70歳未満)
- ・優待乗車証の利用者負担のあり方についての考え(70歳以上)、(70歳未満)
- ・優待乗車証の利用金額の制限についての考え(70歳以上)、(70歳未満)
- ・入浴券を利用している理由、使う頻度(70歳以上)

- ・映画館入場券を利用している理由、使う頻度(70歳以上)
- ・公衆浴場入浴券の制度の今後について(70歳以上) 、(70歳未満)
- ・映画館入場券の制度の今後について(70歳以上) 、(70歳未満)
- ・充実を希望する福祉施策(70歳以上) 、(70歳未満)

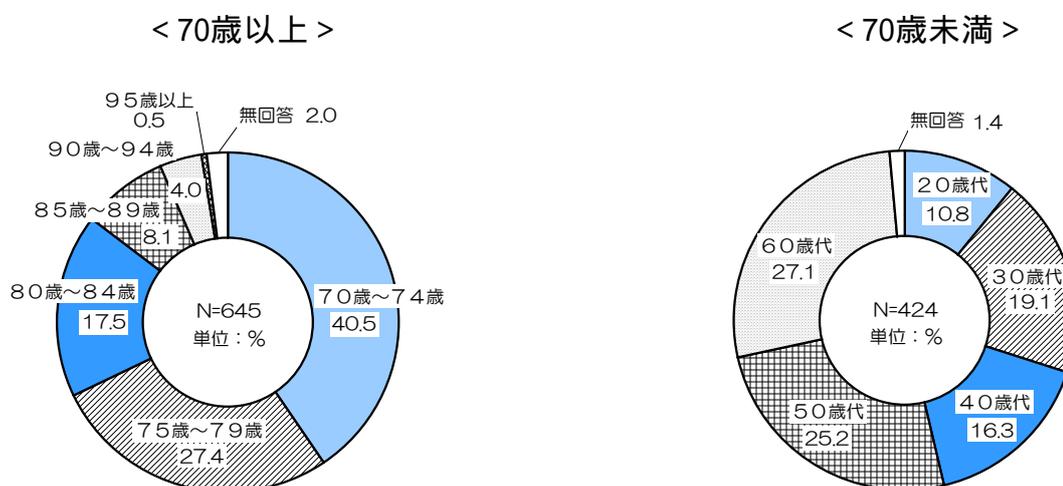
## 報告書の見方

- (1) 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数(N=Number of case)として算出した。
- (3) 本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。
  - ・MA% (Multiple Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合。
  - ・2LA% (2 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを2つまで選択する場合。

## Ⅱ 調査結果

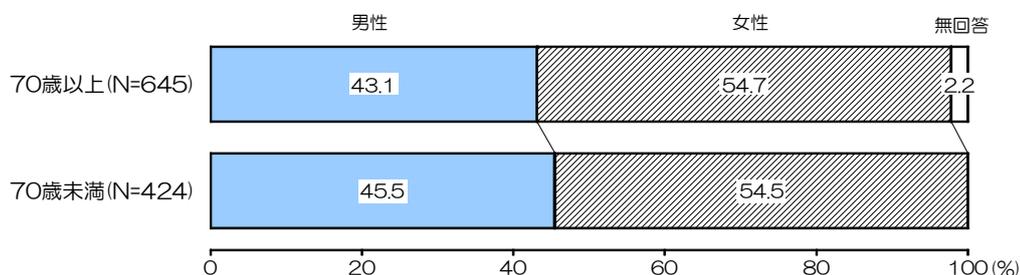
### 1 回答者の属性

#### 1 . 年齢



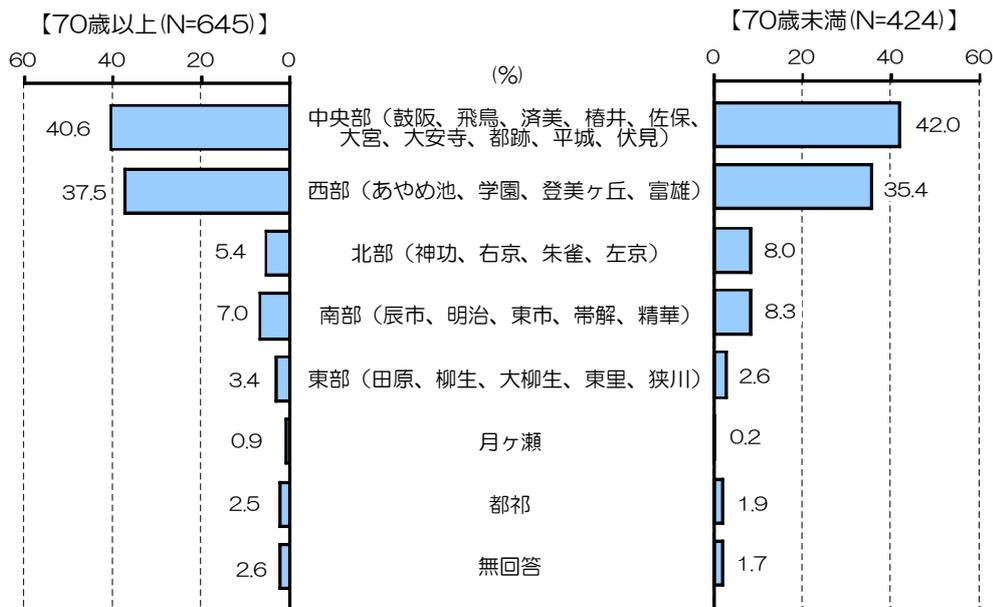
年齢は、70歳以上では「70歳～74歳」が40.5%と最も高く、次いで、「75歳～79歳」が27.4%で70歳代が67.9%となっている。「80歳～84歳」は17.5%、「85歳～89歳」が8.1%と80歳代は25.6%となっている。70歳未満では、「60歳代」が27.1%と最も高く、次いで、「50歳代」が25.2%、「30歳代」が19.1%、「40歳代」が16.3%、「20歳代」が10.8%と高年齢層で割合は高くなっている。

#### 2 . 性別



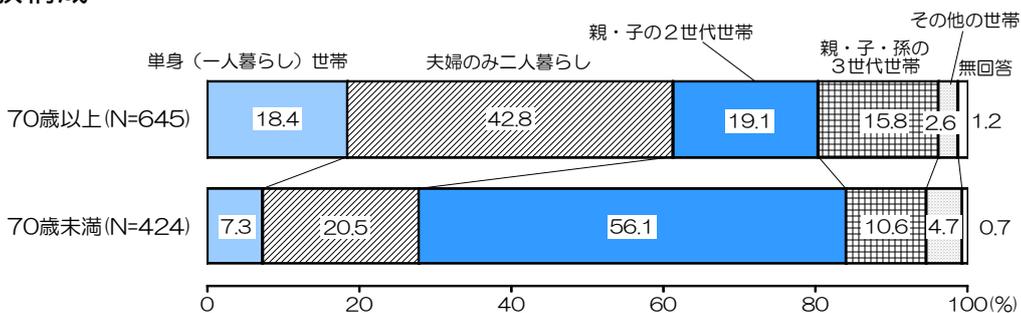
性別は、70歳以上、70歳未満ともに「女性」が半数以上を占め、「男性」よりも若干割合が高くなっている。

### 3 . 居住地



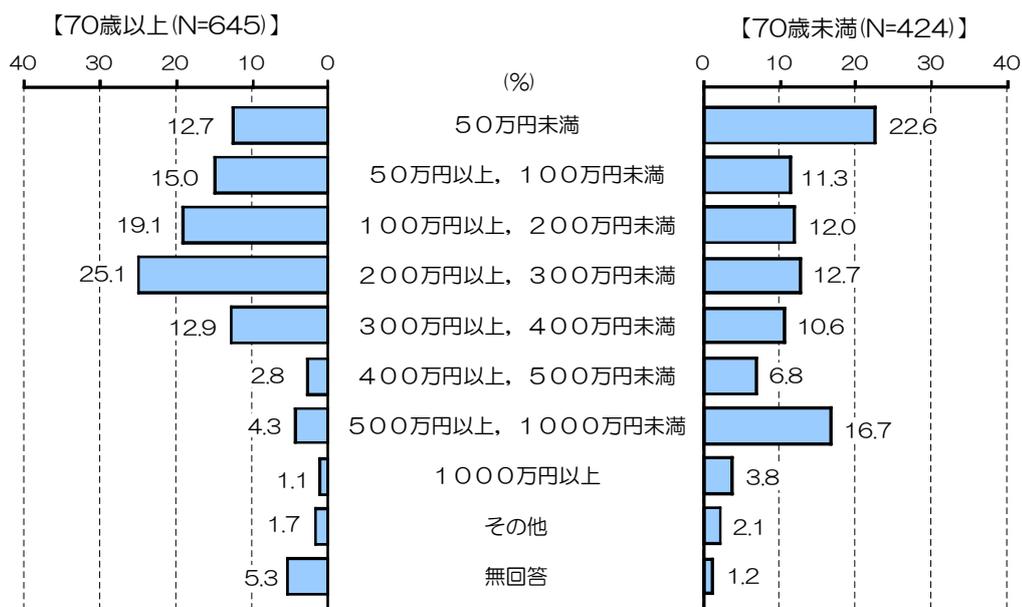
居住地は、70歳以上、70歳未満ともに「中央部（鼓阪、飛鳥、済美、椿井、佐保、大宮、大安寺、都跡、平城、伏見）」が4割を占め、「西部（あやめ池、学園、登美ヶ丘、富雄）」が3割以上となっている。

### 4 . 家族構成



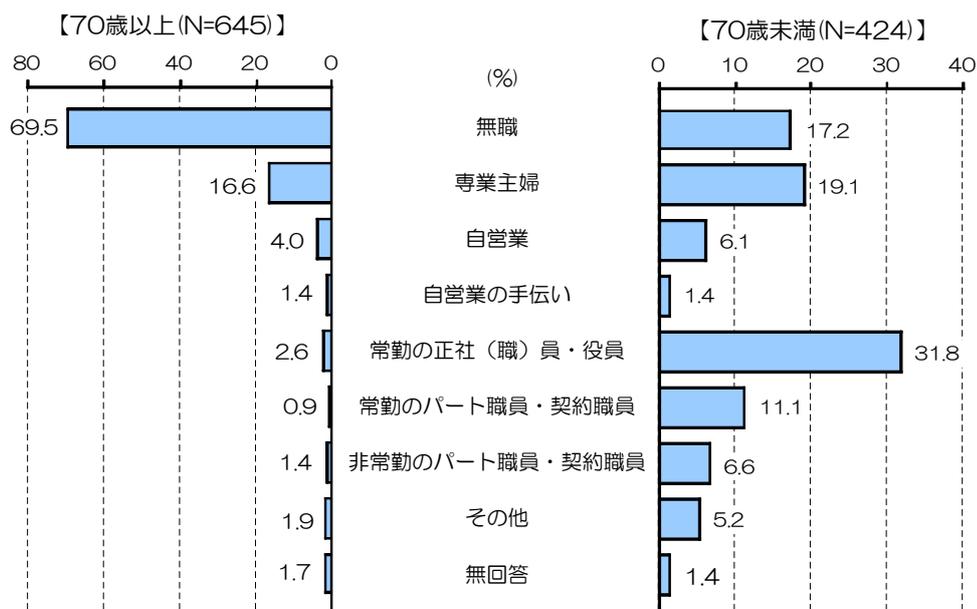
家族構成は、70歳以上では、「夫婦のみ二人暮らし」が42.8%と高く、次いで、「親・子の2世代世帯」が19.1%となっている。70歳未満では、「親・子の2世代世帯」が56.1%と半数以上を占め、次いで、「夫婦のみ二人暮らし」が20.5%となっている。

## 5 . 年間収入



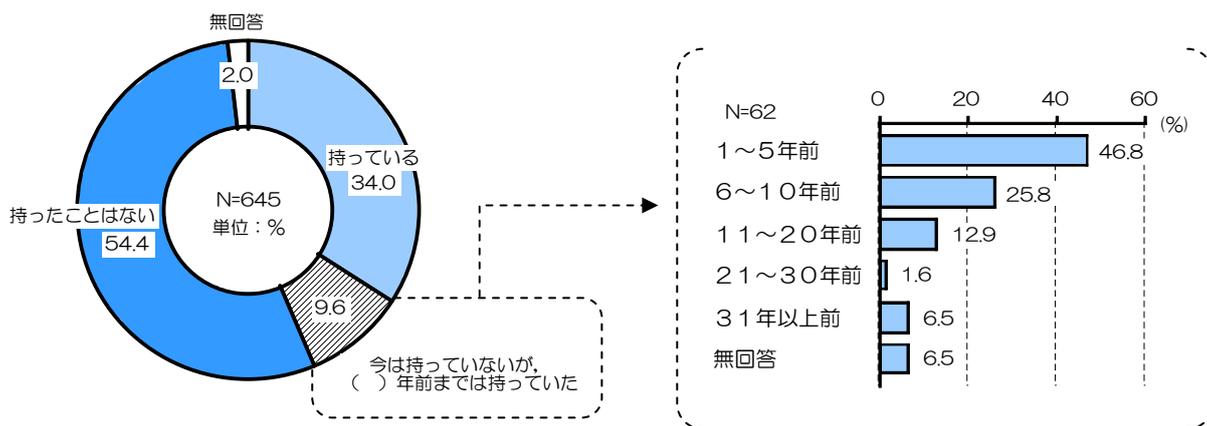
年間収入は、70歳以上では、「200万円以上, 300万円未満」が25.1%と高くなっている。70歳未満では、「50万円未満」が22.6%と高く、次いで、「500万円以上, 1000万円未満」が16.7%となっている。

## 6 . 職業



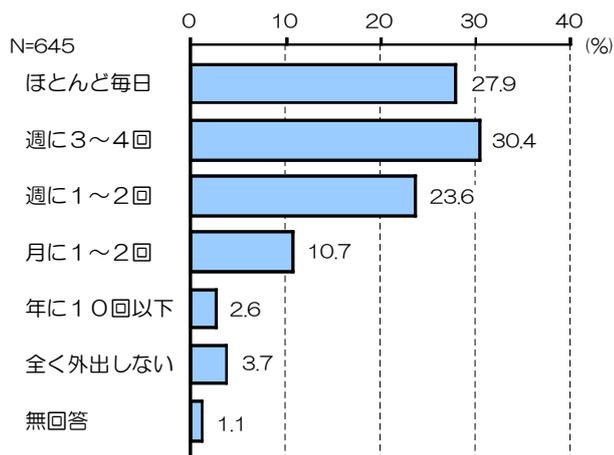
職業は、70歳以上では、「無職」が69.5%で約7割と高くなっている。70歳未満では、「常勤の正社(職)員・役員」が31.8%と高く、次いで、「専業主婦」が19.1%、「無職」が17.2%となっている。

## 7. 運転免許証の有無、持っていた時期（70歳以上のみ）



運転免許証の有無は、「持ったことはない」という人が54.4%と「持っている」という人の34.0%を上回っている。「今は持っていないが、( )年前までは持っていた」という人の9.6%を合わせると、70歳以上で現在運転免許証を持っていないという人は64.0%となっている。「今は持っていないが、( )年前までは持っていた」と回答した人に免許証を持っていた時期について尋ねたところ、「1～5年前」が46.8%と高く、次いで、「6～10年前」が25.8%となっている。

## 8. 外出の頻度（70歳以上のみ）

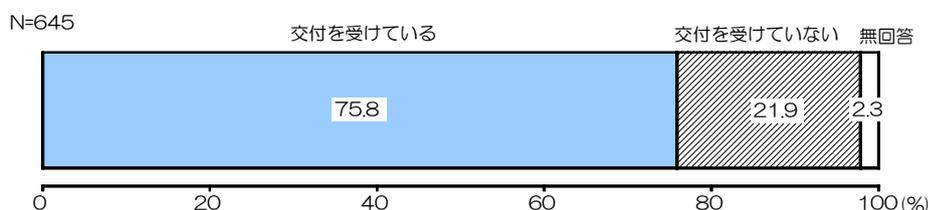


外出の頻度は、「週に3～4回」という人が30.4%と高く、次いで、「ほとんど毎日」が27.9%、「週に1～2回」が23.6%となっている。

## 2 優待乗車証について

### 1. 優待乗車証の交付の有無（70歳以上）

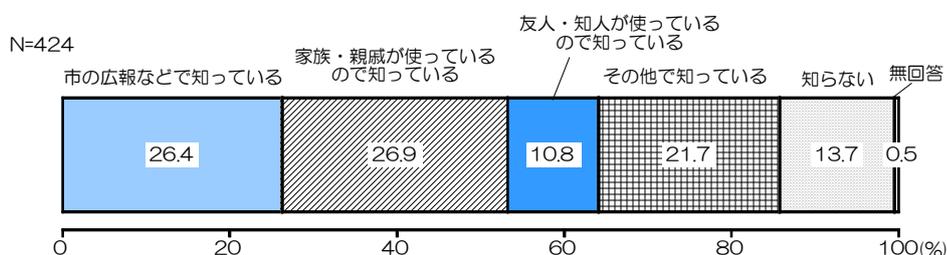
問2 現在、優待乗車証の交付を受けていますか。次のいずれかに をつけてください。



優待乗車証の交付の有無について、70歳以上では「交付を受けている」という人が75.8%と高く、「交付を受けていない」という人の21.9%を上回っている。

### 2. 優待乗車証の認知経路（70歳未満）

問2 優待乗車証をご存知ですか。次の中からあてはまるものに1つだけ をつけてください。

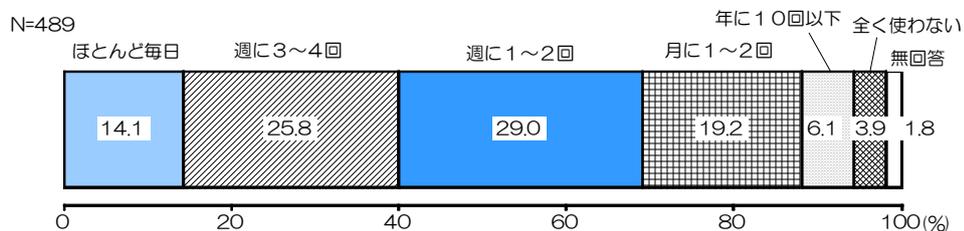


優待乗車証の認知経路について、70歳未満では「家族・親戚が使っているので知っている」という人が26.9%、「市の広報などで知っている」が26.4%、「その他で知っている」が21.7%といずれも2割以上となっている。

### 3. 優待乗車証(70歳以上)、公共交通機関(70歳未満)の利用頻度

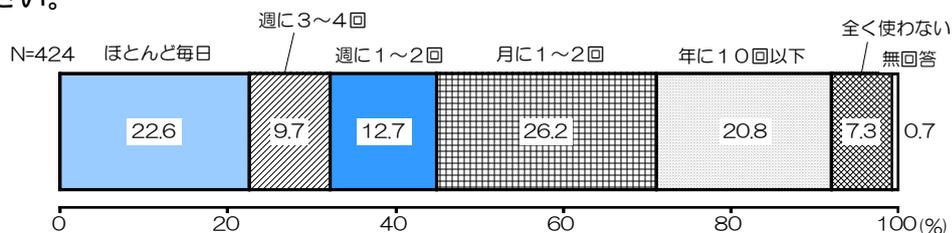
<70歳以上> (以下,問3~問5については、「1. 交付を受けている」と答えた方にお聞きします。)

問3 優待乗車証をどの程度利用されていますか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



<70歳未満>

問3 公共交通機関をどの程度利用されますか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



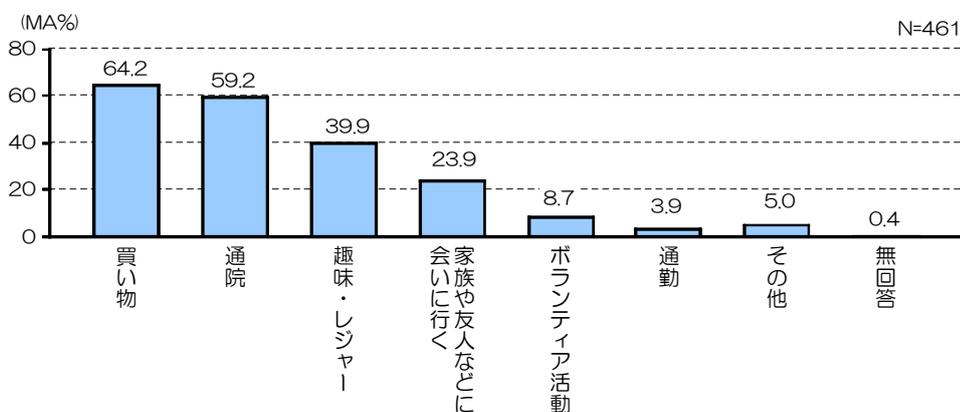
70歳以上の人に、優待乗車証の利用頻度について尋ねると、「週に1~2回」という人が29.0%、「週に3~4回」という人が25.8%と高くなっている。

70歳未満の人に、公共交通機関の利用頻度について尋ねると、「月に1~2回」が26.2%、「ほぼ毎日」が22.6%、「年に10回以下」が20.8%と2割を超え、高い。

#### 4 . 優待乗車証(70歳以上)、公共交通機関(70歳未満)の利用目的

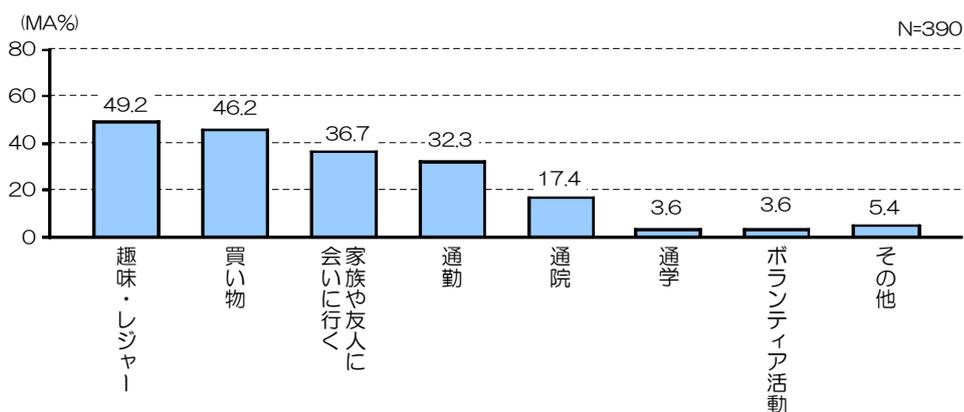
<70歳以上> (以下,問3~問5については、「1. 交付を受けている」と答えた方にお聞きします。)

問4 優待乗車証をどのような目的で利用されていますか。次の中からあてはまるものにもいくつかをつけてください。



<70歳未満>

問4 公共交通機関をどのような目的で利用されていますか。次の中からあてはまるものにもいくつかをつけてください。



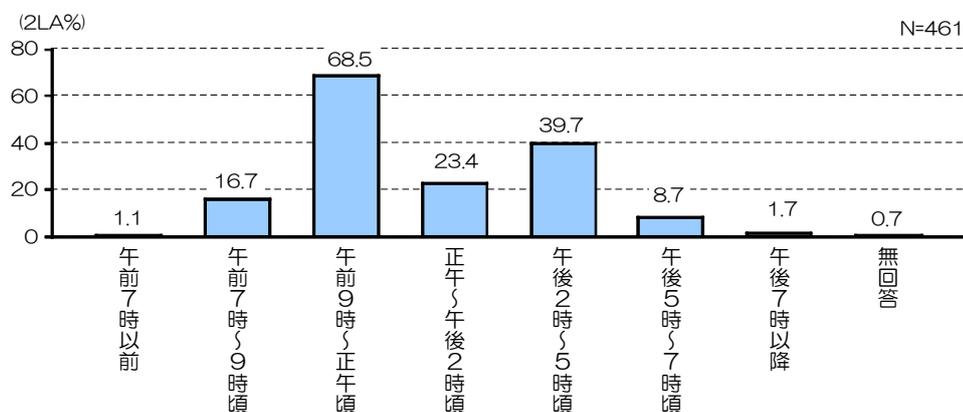
70歳以上の人に、優待乗車証の利用目的について尋ねると、「買い物」という人が64.2%、「通院」という人が59.2%といずれも半数以上を占め、高くなっている。

70歳未満の人に、公共交通機関の利用目的について尋ねると、「趣味・レジャー」が49.2%、「買い物」が46.2%といずれも4割以上、「家族や友人に会いに行く」(36.7%)、「通勤」(32.3%)も3割以上となっている。

## 5 . 優待乗車証(70歳以上)、公共交通機関(70歳未満)の利用時間帯

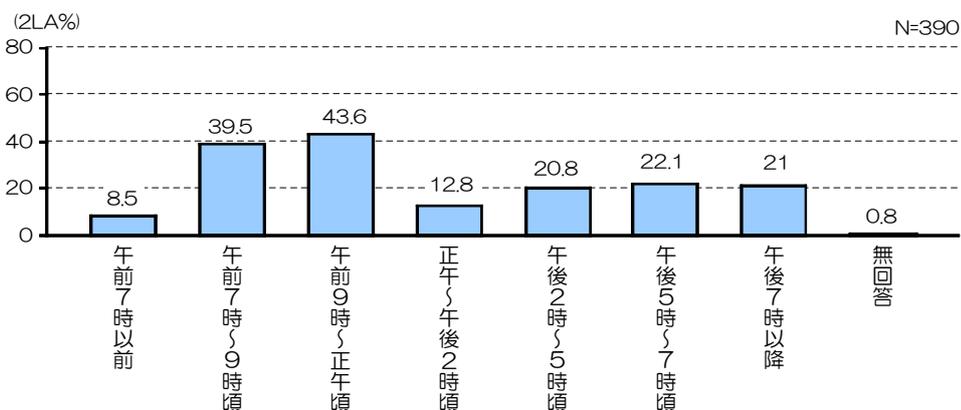
<70歳以上> (以下,問3~問5については、「1. 交付を受けている」と答えた方にお聞きします。)

問5 優待乗車証を利用する主な時間帯は、いつ頃ですか。最もよく利用する時間帯に2つまでをつけてください。



<70歳未満>

問5 公共交通機関を利用する主な時間帯は、いつ頃ですか。最もよく利用する時間帯に2つまでをつけてください。



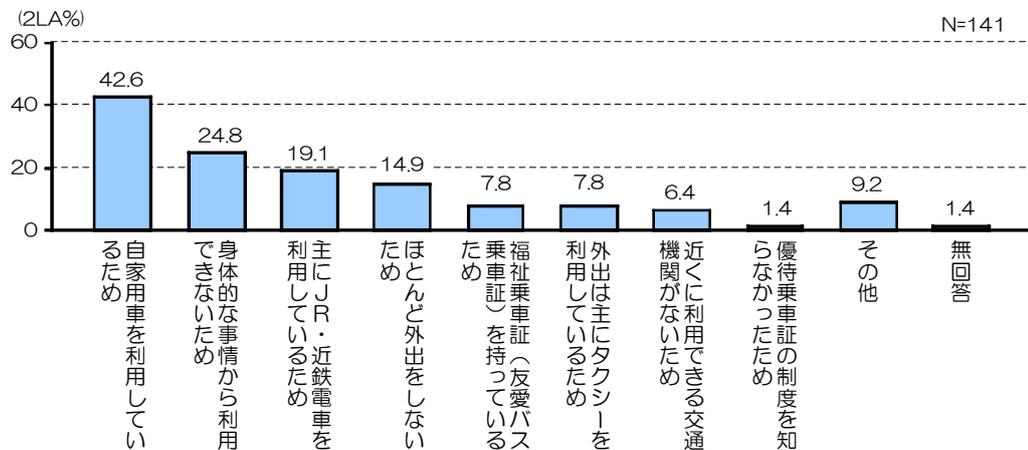
70歳以上の人に、優待乗車証の利用時間帯について尋ねると、「午前9時~正午頃」という人が68.5%と高く、次いで、「午後2時~5時頃」が39.7%となっている。

70歳未満の人に、公共交通機関の利用時間帯について尋ねると、「午前9時~正午頃」が43.6%、「午前7時~9時頃」が39.5%といずれも午前中で高くなっている。

## 6 . 優待乗車証の交付を受けていない理由(70歳以上)

(問6については、問2で「2. 交付を受けていない」と答えた方にお聞きします。)

問6 優待乗車証の交付を受けていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものに2つまでをつけてください。

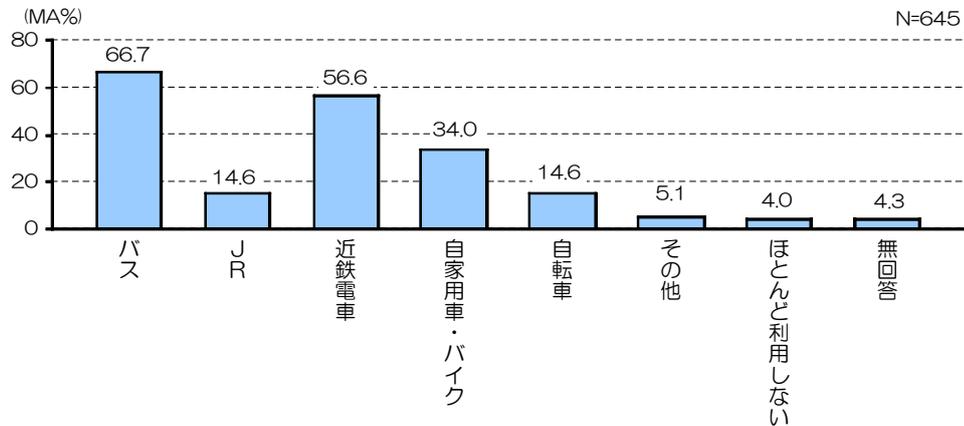


70歳以上の人に、優待乗車証の交付を受けていない理由について尋ねると、「自家用車を利用しているため」という人が42.6%と高く、次いで、「身体的な事情から利用できないため」が24.8%、「主にJR・近鉄電車を利用しているため」が19.1%となっている。

## 7. 普段利用している交通手段(70歳以上)、(70歳未満)

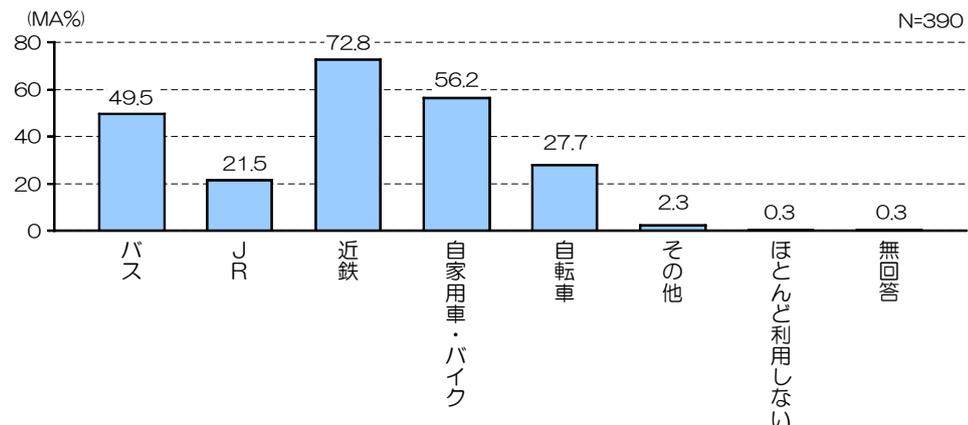
< 70歳以上 >

問7 普段利用している交通手段はどれですか。次の中からあてはまるものいくつかもをつけてください。



< 70歳未満 >

問6 普段利用している交通手段はどれですか。次の中からあてはまるものいくつかもをつけてください。



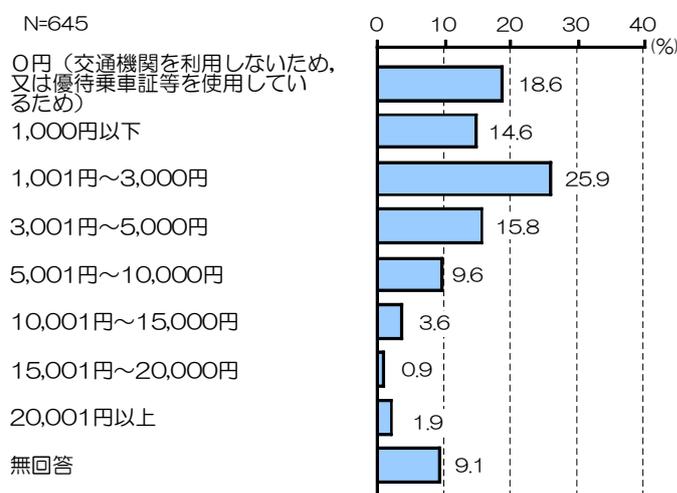
70歳以上の人に、普段利用している交通手段について尋ねると、「バス」が66.7%と高く、次いで、「近鉄電車」が56.6%と半数以上となっている。

70歳未満の人に、普段利用している交通手段について尋ねると、「近鉄」が72.8%と高く、「自家用車・バイク」が56.2%といずれも半数以上、「バス」も49.5%とほぼ半数となっている。

## 8. 1ヶ月の交通費用(70歳以上)、(70歳未満)

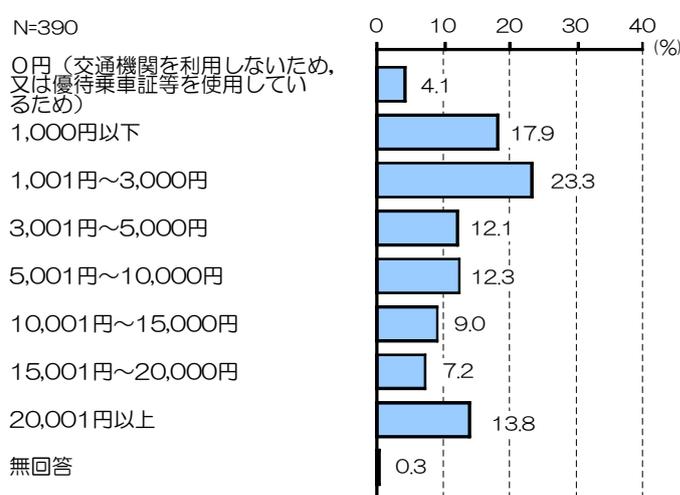
< 70歳以上 >

問8 日常生活の中で、1ヶ月の交通経費(タクシーを除く公共交通機関で、通勤経費を含む)の支出はどの程度ですか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



< 70歳未満 >

問7 日常生活の中で、1ヶ月の交通経費(タクシーを除く公共交通機関で、通勤・通学経費を含む)の支出はどの程度ですか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



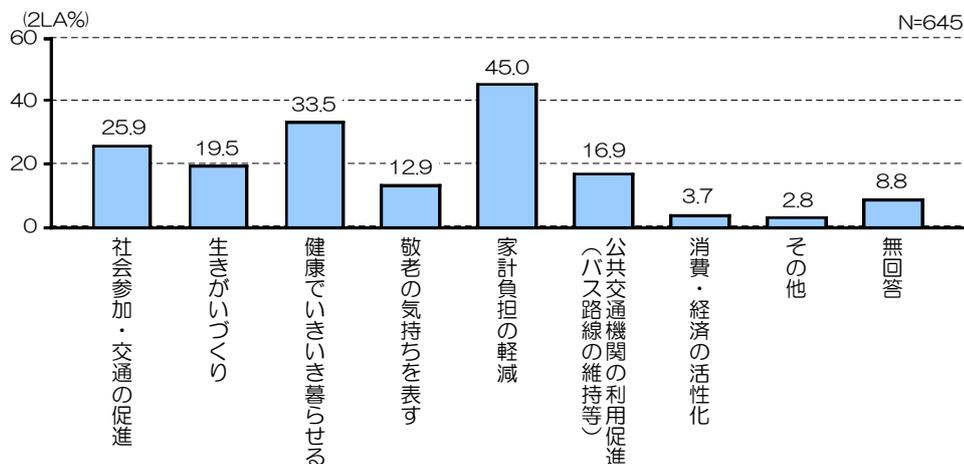
70歳以上の人に、1ヶ月の交通費用について尋ねると、「1,001円~3,000円」が25.9%と高く、次いで、「0円(交通機関を利用しないため、又は優待乗車証等を使用しているため)」が18.6%となっている。

70歳未満の人に、1ヶ月の交通費用について尋ねると、「1,001円~3,000円」が23.3%と高く、次いで、「1,000円以下」が17.9%と合わせて4割以上の人が3,000円以内と回答している。

## 9. 優待乗車証が役立っていると思う点(70歳以上)、(70歳未満)

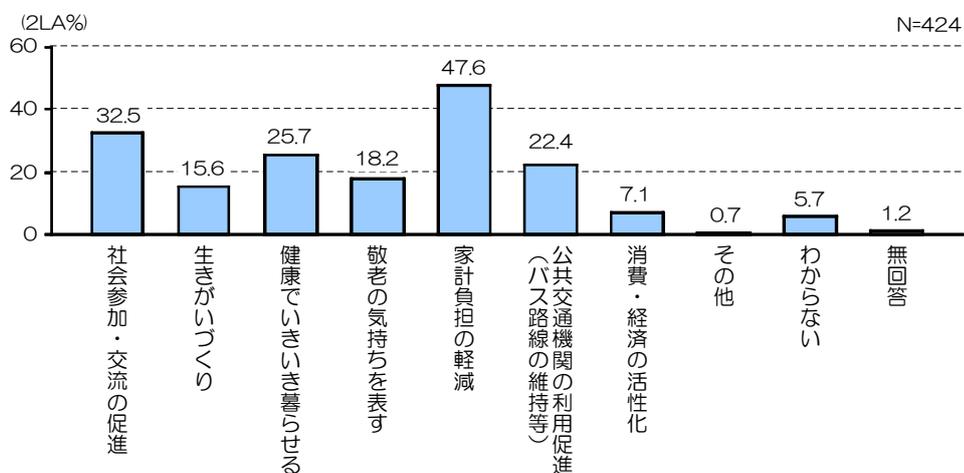
< 70歳以上 >

問9 現在の優待乗車証はどのようなことに役立っていると思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを2つまで をつけてください。



< 70歳未満 >

問8 現在の優待乗車証はどのようなことに役立っていると思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを2つまで をつけてください。

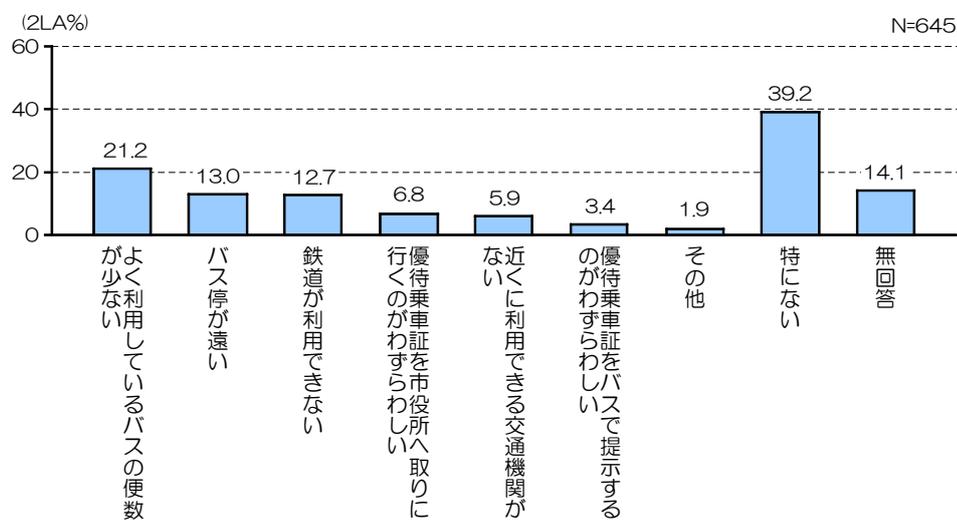


70歳以上の人に、優待乗車証が役立っていると思う点について尋ねると、「家計負担の軽減」が45.0%と高く、次いで、「健康でいきいき暮らせる」が33.5%となっている。

70歳未満の人に、優待乗車証が役立っていると思う点について尋ねると、「家計負担の軽減」が47.6%と高く、次いで、「社会参加・交流の促進」が32.5%となっている。

## 10. 優待乗車証について不便だと思う点(70歳以上)

問 10 優待乗車証について、不便に思ったこと、または不便だと考えられることは何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを2つまで をつけてください。

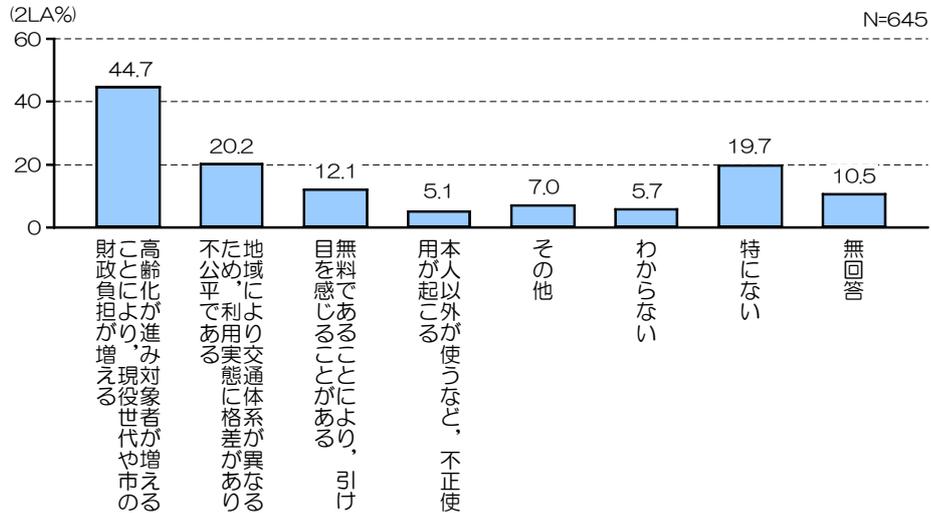


70歳以上の人に、優待乗車証について不便だと思う点について尋ねると、「よく利用しているバスの便数が少ない」が21.2%と高く、次いで、「バス停が遠い」が13.0%、「鉄道が利用できない」が12.7%となっているが、いずれも1～2割ほどとなっている。「特にない」という人は39.2%となっている。

## 11. 優待乗車証制度の問題点(70歳以上)、(70歳未満)

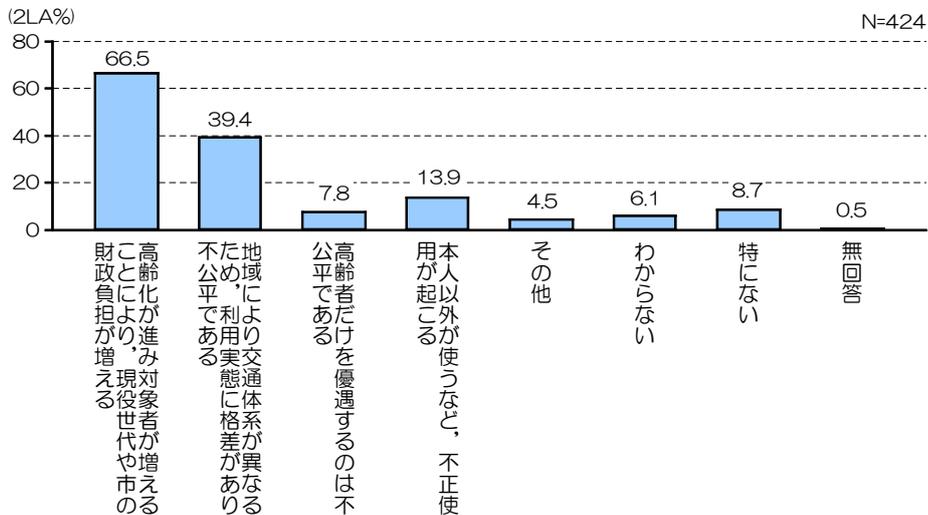
< 70歳以上 >

問 11 現在の優待乗車証制度の問題点として日頃どのように感じておられますか。次の中からあなたの考えに近いものを2つまで をつけてください。



< 70歳未満 >

問 9 現在の優待乗車証制度の問題点として考えられることは何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを2つまで をつけてください。



70歳以上の人に、優待乗車証制度の問題点について尋ねると、「高齢化が進み対象者が増えることにより、現役世代や市の財政負担が増える」が44.7%と高く、次いで、「地域により交通体系が異なるため、利用実態に格差があり不公平である」が20.2%となっている。

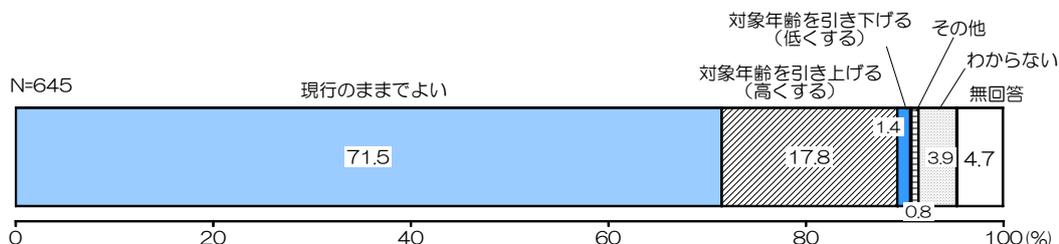
70歳未満の人に、優待乗車証制度の問題点について尋ねると、「高齢化が進み対象者が増えることにより、現役世代や市の財政負担が増える」が66.5%と高く、次いで、「地域により交通体系が異なるため、利用実態に格差があり不公平である」が39.4%となっている。

## 12. 優待乗車証の対象年齢についての考え(70歳以上)、(70歳未満)

### < 70歳以上 >

問 12 今後とも優待乗車証制度を安定的に維持・存続させるためには、どうすれば良いかおたずねします。

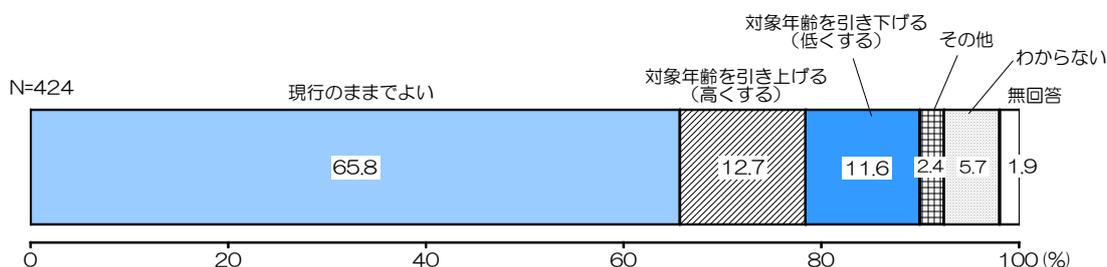
(1) 現在の制度は70歳以上を対象としていますが、対象年齢についてどう思いますか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



### < 70歳未満 >

問 10 今後とも優待乗車証制度を安定的に維持・存続させるためには、どうすれば良いかおたずねします。

(1) 現在の制度は70歳以上を対象としていますが、対象年齢についてどう思いますか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



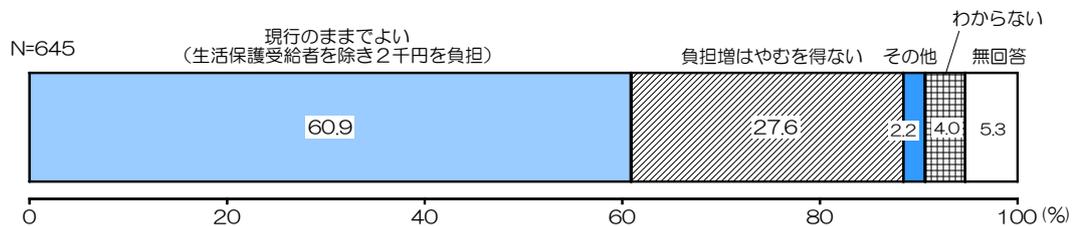
70歳以上の人の、優待乗車証の対象年齢についての考えは、「現行のままでよい」という人が71.5%と7割を占めている。「対象年齢を引き上げる (高くする)」は17.8%で「対象年齢を引き下げる (低くする)」の1.4%を上回っている。

70歳未満の人の、優待乗車証の対象年齢についての考えは、「現行のままでよい」という人が65.8%となっている。「対象年齢を引き上げる (高くする)」は12.7%で「対象年齢を引き下げる (低くする)」の11.6%を僅かに上回っている。

### 13. 優待乗車証の利用者負担額についての考え(70歳以上)、(70歳未満)

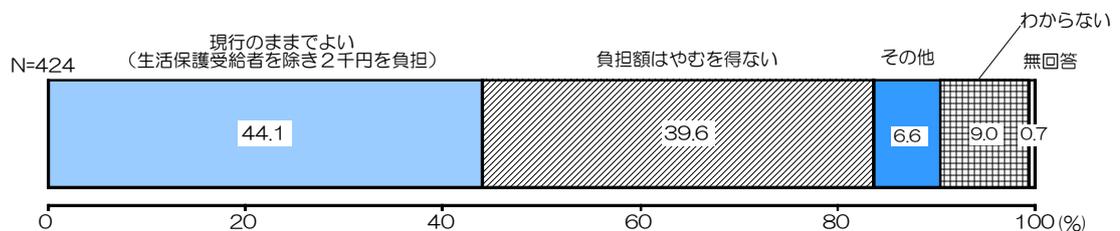
< 70歳以上 >

(2) 利用者が負担する額についておたずねします。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



< 70歳未満 >

(2) 利用者が負担する額についておたずねします。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



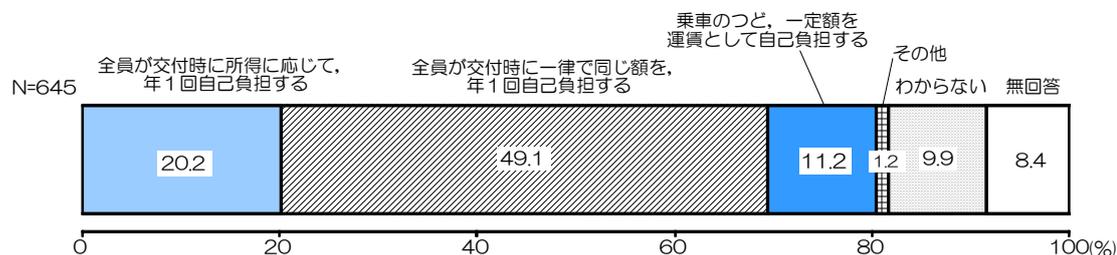
70歳以上の人の、優待乗車証の利用者負担額についての考えは、「現行のままでよい（生活保護受給者を除き2千円を負担）」という人が60.9%と6割を占めている。「負担増はやむを得ない」は27.6%となっている。

70歳未満の人の、優待乗車証の利用者負担額についての考えは、「現行のままでよい（生活保護受給者を除き2千円を負担）」という人が44.1%で「負担増はやむを得ない」の39.6%を僅かに上回っている。

## 14. 優待乗車証の利用者負担のあり方についての考え(70歳以上)、(70歳未満)

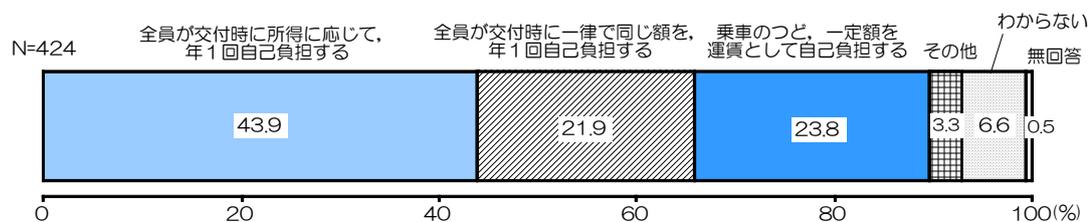
< 70歳以上 >

(3) 負担のあり方についておたずねします。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



< 70歳未満 >

(3) 利用者負担のあり方についておたずねします。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



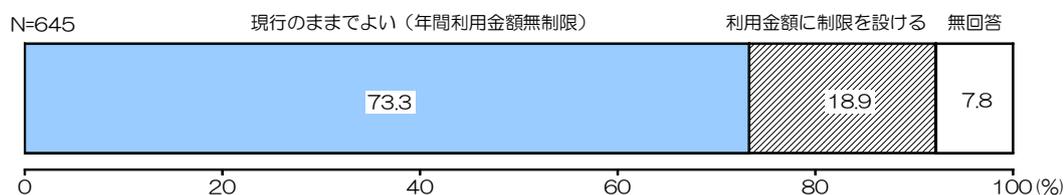
70歳以上の人の、優待乗車証の利用者負担のあり方についての考えは、「全員が交付時に一律で同じ額を、年1回自己負担する」という人が49.1%で、「全員が交付時に所得に応じて、年1回自己負担する」の20.2%を上回っている。

70歳未満の人の、優待乗車証の利用者負担のあり方についての考えは、「全員が交付時に所得に応じて、年1回自己負担する」が43.9%で「全員が交付時に一律で同じ額を、年1回自己負担する」の21.9%を上回っている。「乗車のつど、一定額を運賃として自己負担する」が23.8%となっている。

## 15. 優待乗車証の利用金額の制限についての考え(70歳以上)、(70歳未満)

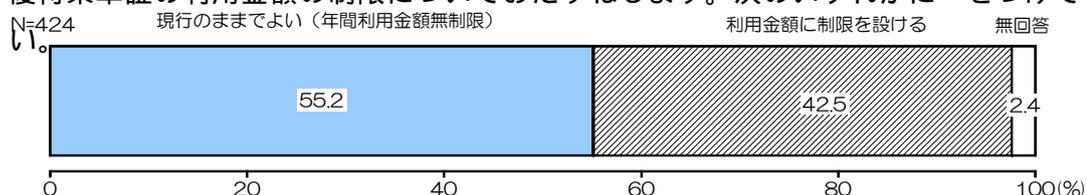
< 70歳以上 >

(4) 優待乗車証の利用金額の制限についておたずねします。次のいずれかに をつけてください。



< 70歳未満 >

(4) 優待乗車証の利用金額の制限についておたずねします。次のいずれかに をつけてください。



70歳以上の人の、優待乗車証の利用金額の制限についての考えは、「現行のままでよい(年間利用金額無制限)」という人が73.3%と7割を占め、「利用金額に制限を設ける」の18.9%を上回っている。

70歳未満の人の、優待乗車証の利用金額の制限についての考えは、「現行のままでよい(年間利用金額無制限)」が55.2%と半数を占め、「利用金額に制限を設ける」の42.5%を上回っている。

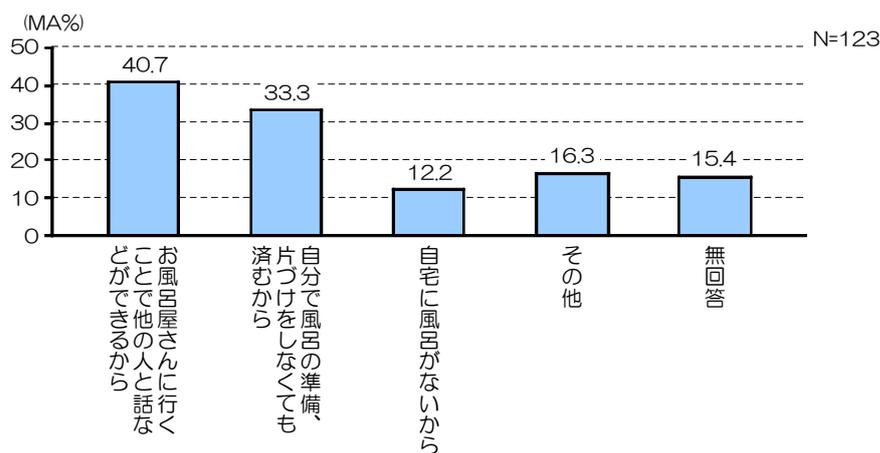
### 3 公衆浴場入浴券、映画館入場券について

#### 1. 入浴券を利用している理由、使う頻度(70歳以上)

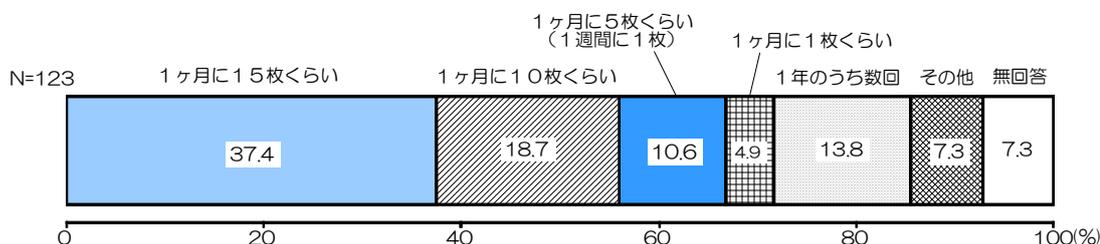
(問 14 と 15 は入浴券、映画館入場券を利用している方に、お聞きします。)

##### 問 14 入浴券について

(1) 入浴券を利用している理由は何ですか。次の中からあてはまるものいくつかをつけてください。



(2) 入浴券は年間どれくらい使いますか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



70歳以上の公衆浴場入浴券利用者に、入浴券を利用している理由について尋ねると、「お風呂屋さんに行くことで他の人と話などができるから」が40.7%と高く、次いで、「自分で風呂の準備、片づけをしなくても済むから」が33.3%となっている。

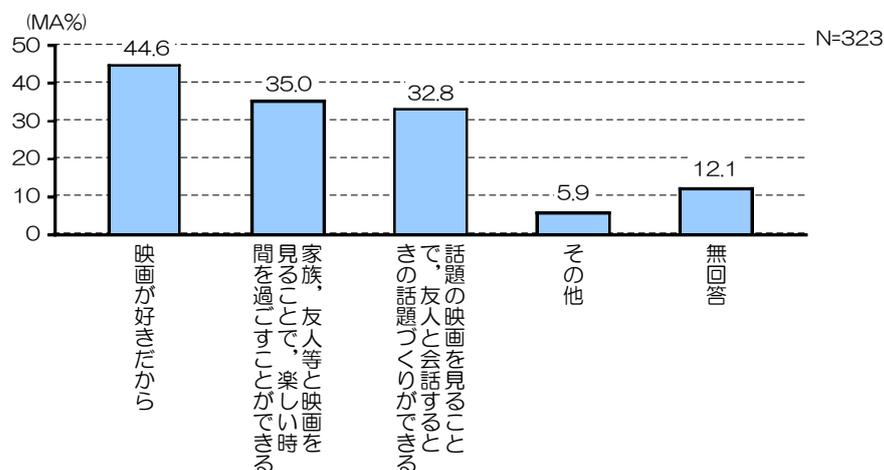
入浴券を使う頻度について尋ねると、「1ヶ月に15枚くらい」が37.4%、「1ヶ月に10枚くらい」が18.7%と頻度は高めとなっている。

## 2. 映画館入場券を利用している理由、使う頻度(70歳以上)

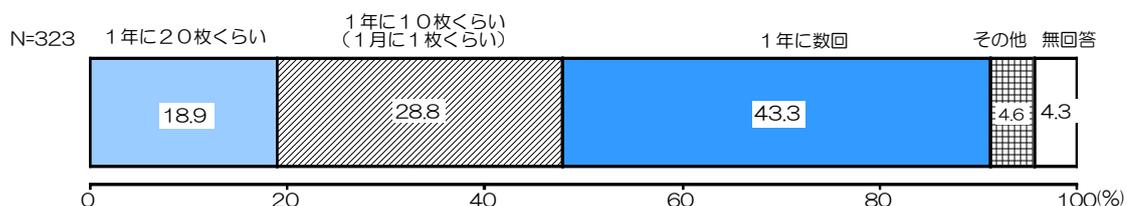
(問 14 と 15 は入浴券、映画館入場券を利用している方に、お聞きします。)

### 問 15 映画館入場券

(1) 映画館入場券を利用している理由は何ですか。次の中からあてはまるものいくつかをつけてください。



(2) 映画館入場券は年間どれくらい使いますか。次の中からあてはまるものに1つだけをつけてください。



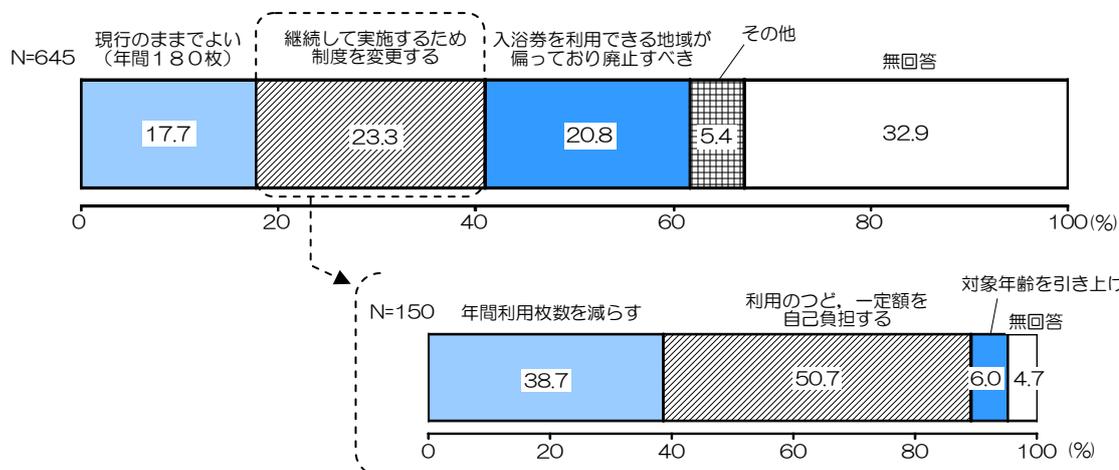
70歳以上の映画館入場券利用者に、映画館入場券を利用している理由について尋ねると、「映画が好きだから」が44.6%と高く、次いで、「家族、友人等と映画を見ることで、楽しい時間を過ごすことができる」が35.0%、「話題の映画を見ることで、友人と会話するときの話題づくりができる」が32.8%となっている。

映画館入場券を使う頻度について尋ねると、「1年に数回」が43.3%、「1年に10枚くらい(1月に1枚くらい)」が28.8%と頻度は低めとなっている。

### 3. 公衆浴場入浴券の制度の今後について(70歳以上)、(70歳未満)

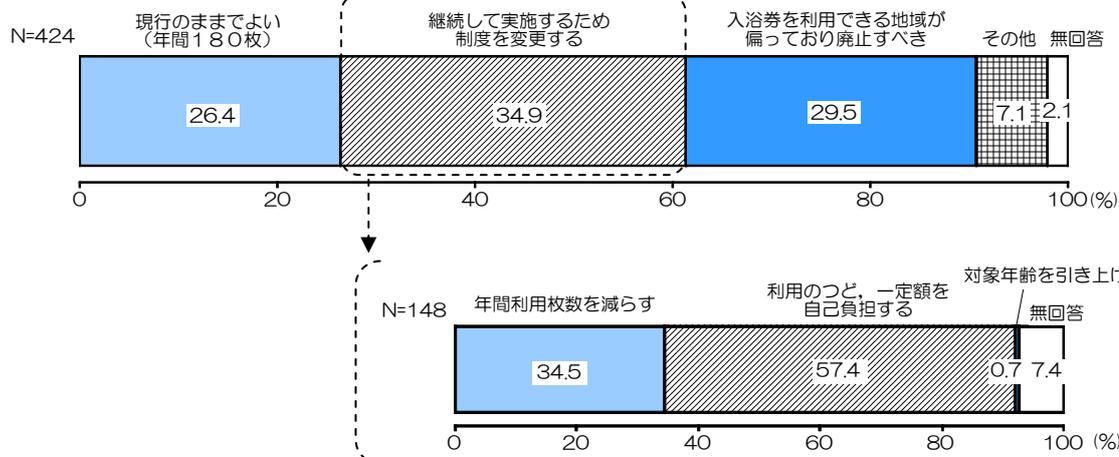
< 70歳以上 >

問 16 公衆浴場入浴券の制度の今後についておたずねします。あてはまるもの1つだけをつけてください。



< 70歳未満 >

問 12 公衆浴場入浴券の制度の今後についておたずねします。あてはまるもの1つだけをつけてください。



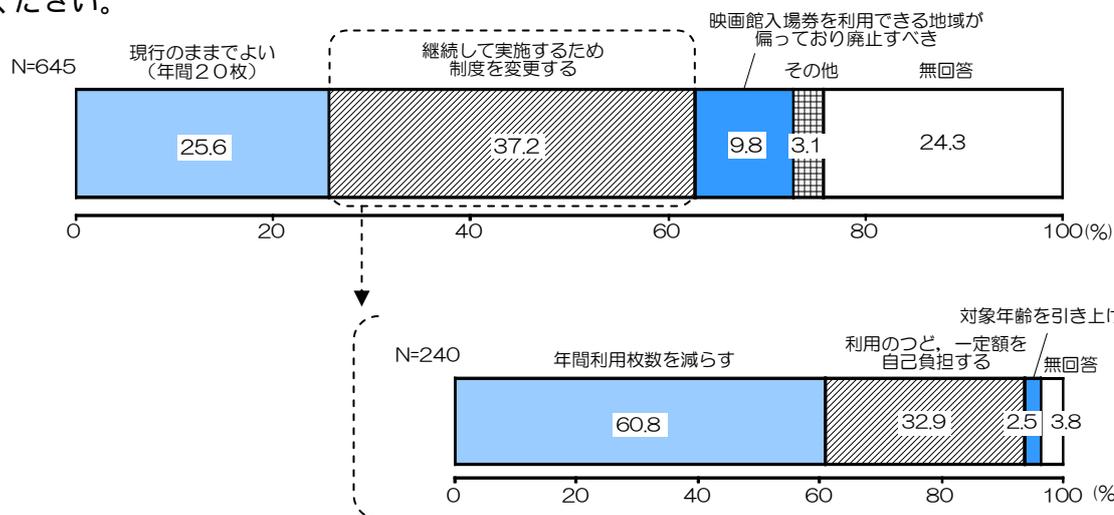
70歳以上の人の、公衆浴場入浴券の制度の今後についての考えは、「継続して実施するため制度を変更する」という人が23.3%で、その内容は「利用のつど、一定額を自己負担する」が50.7%と半数を占めている。「入浴券を利用できる地域が偏っており廃止すべき」が20.8%で、「現行のままでよい (年間180枚)」の17.7%を上回っている。

70歳未満の人の、公衆浴場入浴券の制度の今後についての考えは、「継続して実施するため制度を変更する」という人が34.9%と高く、その内容は「利用のつど、一定額を自己負担する」が57.4%と半数以上となっている。「入浴券を利用できる地域が偏っており廃止すべき」が29.5%で、「現行のままでよい (年間180枚)」の26.4%を上回っている。

#### 4 . 映画館入場券の制度の今後について(70歳以上) 、 (70歳未満)

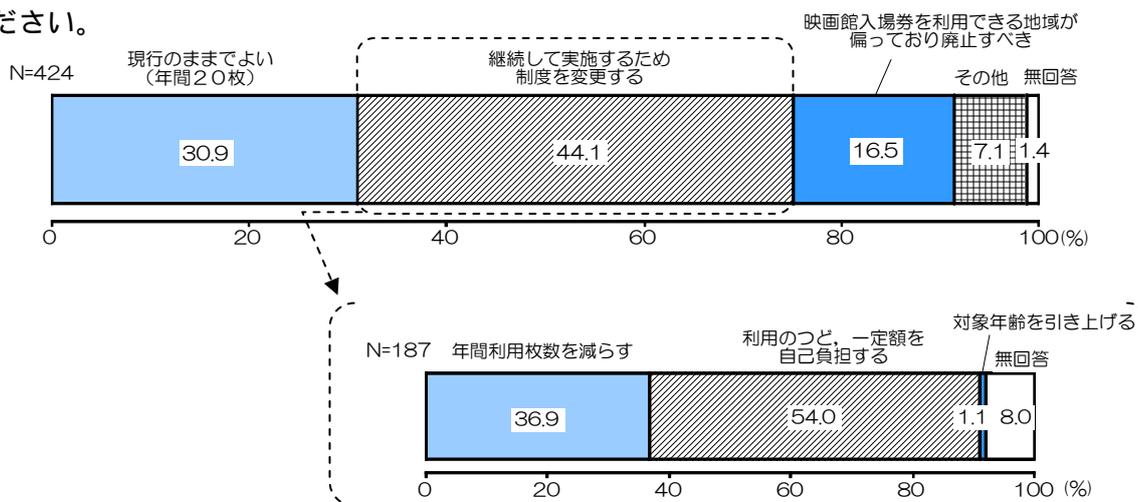
< 70 歳以上 >

問 17 映画館入場券の制度の今後についておたずねします。あてはまるもの 1 つだけ をつけてください。



< 70 歳未満 >

問 13 映画館入場券の制度の今後についておたずねします。あてはまるもの 1 つだけ をつけてください。



70歳以上の人の、映画館入場券の制度の今後についての考えは、「継続して実施するため制度を変更する」という人が37.2%で、その内容は「年間利用枚数を減らす」が60.8%と6割を占めている。「現行のままでよい (年間20枚)」が25.6%で、「映画館入場券を利用できる地域が偏っており廃止すべき」の9.8%を上回っている。

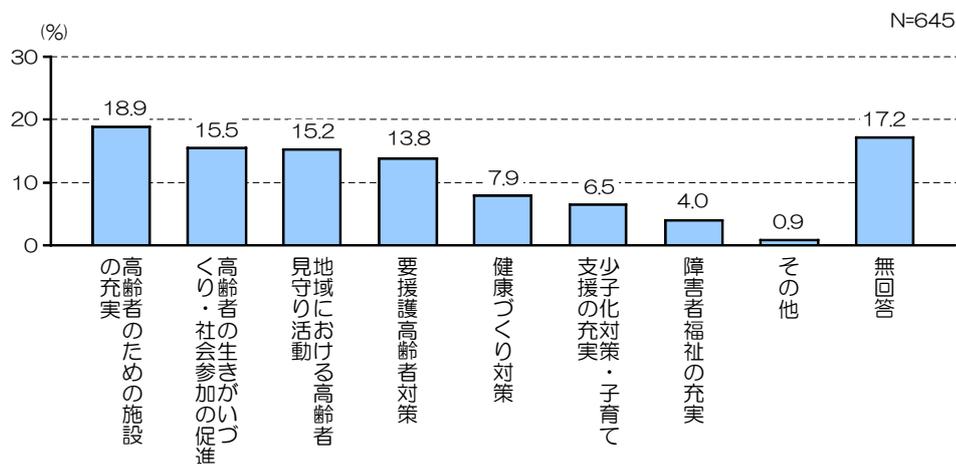
70歳未満の人の、映画館入場券の制度の今後についての考えは、「継続して実施するため制度を変更する」という人が44.1%と高く、その内容は「利用のつど、一定額を自己負担する」が54.0%と半数以上となっている。「現行のままでよい (年間20枚)」が30.9%で、「映画館入場券を利用できる地域が偏っており廃止すべき」の16.5%を上回っている。

## 4 老春手帳優遇制度以外の福祉施策について

### 1. 充実を希望する福祉施策(70歳以上)、(70歳未満)

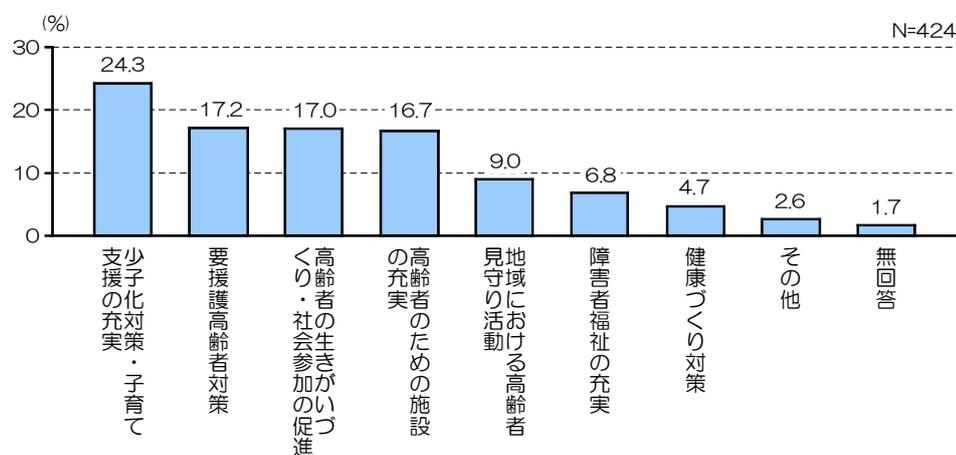
< 70歳以上 >

問 19 今後、どのような福祉施策が充実されることを希望しますか。次の中からあなたの考えに最も近いものに1つだけをつけてください。



< 70歳未満 >

問 15 今後、どのような福祉施策が充実されることを希望しますか。次の中からあなたの考えに最も近いものに1つだけをつけてください。



70歳以上の人に、充実を希望する福祉施策について尋ねると、「高齢者のための施設の充実」という人が18.9%と高く、次いで、「高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進」が15.5%、「地域における高齢者見守り活動」が15.2%、「要援護高齢者対策」が13.8%となっている。

70歳未満の人に、充実を希望する福祉施策について尋ねると、「少子化対策・子育て支援の充実」という人が24.3%と高く、次いで、「要援護高齢者対策」が17.2%、「高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進」が17.0%、「高齢者のための施設の充実」が16.7%となっている。

老春手帳優遇制度についてのアンケート  
報告書

平成19年12月

発行 奈良市  
編集 奈良市保健福祉部長寿福祉課  
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号  
TEL : 0742-34-5439